企画展　「沙羅双樹の木の下で―加茂の涅槃図を中心に―」

会　　期：2021 年 4 月 24 日(土)～6 月 6 日(日)　〈38 日間〉
会　　場：企画展示室
展示点数：15 点(参考 6 点を含む)
観 覧 料：無料
入場者数：2,320 人

【内容】

今から 2500 年ほど前、釈迦は沙羅双樹という木の下で、その生涯に幕を下ろしました。これを「涅槃」といい、様々な逸話をもって語られる釈迦の生涯においても、特に重要視されている出来事です。この涅槃を絵画化したのが「涅槃図」で、大きな画面中に横臥する釈迦を中心として、菩薩や僧、動物たちがひしめき合い嘆き悲しむ様は、見る者を圧倒する一方、どこかユーモラスに私たちの目には映ります。

この展覧会では、涅槃図の加茂地区を中心とした作例とともに、岐阜県下の名品を展示しました。その中で、歴史的な変遷とともに、原点である経典を基本としながら、細部にまで散りばめられた意味を紹介しました。人の命の重たさや儚さをひしひしと感じる昨今。涅槃図は、まさに密ともいえる画幅の中で、崇高な精神性を筆触鮮やかに伝えています。難解なものに思われがちな仏画ですが、機知にとんだ表現や巧みで明快な画面構成も手がかりに、今に通じる人々の信念や祈りの奥深さを感じてもらうことを目的としました。

【関連事業】

□絵解き講座「あなたにもわかる涅槃図」

4 月 25 日（日）　①10:00～11:00　参加者 34 人
　　②13:30～14:30　参加者 42 人
5 月 12 日（水）　①10:00～11:00　参加者 25 人
　　②13:30～14:30　参加者 27 人
内　容：担当学芸員が展示室を案内した。
参加料：無料
会　場：企画展示室
※5 月 12 日(水)は感染症拡大防止の観点から会場をエントランスホールとした。

□仏画入門「涅槃図の動物たちを描こう」

5 月 15 日（土）13:30～15:30　　参加者：16 名
内　容：実際の日本画の道具を使い、涅槃図に描かれる動物を描いた。
講　師：渡辺崇（みのかも文化の森・学芸学習係）
参加料：500 円
会　場：企画展示室、工芸室

【展示品】

No.	指定	資料名	制作年	法量〔縦×横×高〕(cm)	法量(表装)	所蔵（所在地）
1		絹本著色仏涅槃図	明和 8(1771)年	100×59	193×77	願成寺(美濃加茂市蜂屋町)
2	□	絹本著色仏涅槃図	室町時代初期	161×126	247×148	妙雲寺(加茂郡川辺町中川辺)
3	□	絹本著色仏涅槃図	永禄 9(1566)年	160×142	243×163	龍福寺(加茂郡富加町加治田)
4	○	絹本著色仏涅槃図	室町時代後期	171×145	283×174	龍門寺(加茂郡七宗町神渕)
5	○	絹本著色仏涅槃図	室町時代後期	119×76	213×100	瑞林寺(美濃加茂市蜂屋町)
6	□	絹本著色仏涅槃図	江戸時代初期	174×132	290×156	大梅寺(加茂郡富加町羽生)
7		紙本著色仏涅槃図	元禄 16(1703)年	167×146	215×160	禅徳寺(美濃加茂市伊深町)
8		絹本著色仏涅槃図	正徳 4(1715)年	159×120	250×150	祐泉寺(美濃加茂市太田本町)
9	□	絹本著色仏涅槃図	元治元(1864)年	138×99	180×110	大梅寺(加茂郡富加町羽生)
参 1		仏涅槃図(複製)	平安時代後期	188×260	266×278	汾陽寺(関市武芸川町谷口)
参 2		外箱(3 関連資料)	—	179×14×10	—	龍福寺(加茂郡富加町加治田)
参 3		外箱(7 関連資料)	—	175×12×9	—	禅徳寺(美濃加茂市伊深町)
参 4		外箱(8 関連資料)	—	164×11×9	—	祐泉寺(美濃加茂市太田本町)
参 5		『本草綱目』	江戸時代	27×18	—	館蔵
参 6		駱駝図	江戸時代	38×53	—	個人蔵

〔凡例〕

・「指定」列について、○…県重要文化財、□…町指定文化財　である。

・展示品 1 については現在、美濃加茂市民ミュージアム寄託。

・参(参考)1 の制作年、所蔵については原品についてのもの。現在、奈良国立博物館寄託。
　複製は関市文化財保護センター所蔵。

【参考】

中世に遡る作品がこれほどひとつの地域に遺っているのは特異なことで、調査させていただいたお寺や関係者の方々のご厚意もあり、機会を得ての開催の運びとなった。涅槃に関わる立体物や関連資料が少なかったため、中央の展示ケースには涅槃図の収納箱を展示し、箱に書かれている墨書や寄進者の銘記から、歴史の臨場感を一層感じていただけた。最終的には、最後に涅槃図があるお寺の説明と「イッテミテ」の冊子を用意した。多くの方にご来場いただき、仏画という一見日常とは縁遠いテーマでも地域の方が深く関心を持たれていると知ることができたのは一つの発見だった。

〔展示全景〕

〔講座　仏画入門「涅槃図の動物たちを描こう」〕

【アンケート結果】（全 206 枚）

選択設問から

①展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	79
・ほぼ満足	104
・ふつう	36
・やや不満	5
・不満	0
計	224

②展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	70
・ほぼ満足	103
・ふつう	36
・やや不満	5
・不満	0
計	214

③展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・満足	81
・ほぼ満足	97
・ふつう	38
・やや不満	1
・不満	0
計	217

自由記述から

・説明会に参加したけど分かりやすかったです。小学生なので、むずかしかったけれど、少しは昔を知れたので、よかったです。単眼鏡をつかって絵（？）をくわしく見ることが出来たので満足しています。

・（前略） 難しい言語や専門用語尽くしの頭がうーんとなるような説明文ではなく、分かりやすく親しみやすい言葉でまとめられていると思いました。（後略）

・解説の学芸員の先生が、とてもていねいで感じよく快適でした。照明が薄暗く（展示品のためであることは了解）高齢者には少し見づらく残念です。（館のせいではない）マスクがなければもっと解説も聴きやすかったと思います。今の時期仕方ありません。本当に良い時間を過ごせました。ありがとうございました。

・この地域にこのような涅槃図がある事、まったく知らなかった・・・。一同に展示してくださり涅槃図について知り直接拝見できる機会を作って下さったことに感謝いたします。ありがとうございました。

・とてもわかりやすい展示と内容でした。「涅槃」に対する今までのイメージが大きく変わりました。コロナ禍にあって、「祈り」をテーマに時機を得た企画であったと思います。多くの方が来館されること、また今後も意義ある企画展示をして頂くことを期待しています。

・貴重な絵画を集めて頂き、比較しながら見ることが出来ました。また、大きな作品を見る事で表現しようとしたものや考えに触れることが出来たように感じました。どうも有難うございます。

・地域文化の様相の分かる良い展示だと思いました。

・職員が実際に地域の涅槃会に出かけて、その様子をレポート形式で展示してあったのがとても良かったです。

・いろんな資料があって見やすかったです。パズルもあって、子供がそういうのにふれられるからいいと思いました。パズルが楽しかったです。

・今回の様な涅槃図のみの展示は初めてです。それぞれに比較が出来、また、その違いが分かりやすく解説されていて良かったです。一度見て、解説を読んで、また前の作品を見て比べる、とても楽しい時間を友人と過ごせました。ありがとうございました。

・涅槃図はせいぜい 4～5 点あるくらいだろうと思いながら会場に入りましたので、先ず加茂地区に十点もあるのに驚きました。そもそも一点一点が想像していたより大きなものばかりで、大変見ごたえがありました。図そのものが面白く、又、それを解り易く説明していただき、大変有意義でした。宗教的な意味から、歴史、民俗学的な観点から、事前の準備には相当ご苦労された事でしょうか、パンフレットの文章の行間から伝わって来るようです。動物を描く催しにも参加させて頂き、日本画の技術的なことも勉強する事が出来ました。有難うございます。（中略） あまりお寺に行くこともなく、従って「涅槃会」なるものを知りません。是非とも臨場感を味わってみたい。